

分科会要項

教育文化センター〈各室〉にて

1. 地方教育行政

〈公益事業室〉

テーマ「子どもと府民のための教育行政を問う」

—給特法改正後の京都府での教職員の働き方改革を検討する—

基調報告

中野宏之(京都教職員組合)

報告「城陽市学校現場の実態」

松山成明(宇治久世教組)

報告「教師の働き方改革と事務職員の仕事」

奥村久美子(事務局)

報告「京都府議会での論戦から」京都府会議員団から
(要請中)

2. 生活指導 〈202〉

テーマ「子どもたちの願いや生きづらさを聴き取り、支える—私たちを抜きに、私たちのこと決めないで—」

基調報告

恩庄 澄(研究会事務局)

報告①「学校は、私にとってどんな場所であったか」

報告②「悲しみを背負った少女」(京都市・小学校)

報告③「彼らとの3年間戦争」(京都市・中学校)

報告④「メイク・髪はどうかあるべきか」(仮題)

(京都府・高校)

報告⑤「自由の中で見えてくる『しんどさ』の正体」

(京都市・高校)

3. 学力・教育課程 〈203〉

テーマ「言語能力に焦点をあてた学力形成と学校現場の課題」

基調報告

鋒山泰弘(追手門学院大学)

報告①「タネをまいて耕そう！内言を豊かに」

高橋智和(京都市・小学校)

②「国語『はじめてのごんぎつね』」

加藤耕太(京都府・小学校)

③ 中学校(予定)

4. 子どもの発達と地域 〈302A〉10:00~13:00

テーマ「誰もが共生できる社会をめざして」

基調報告

姫野美佐子(研究会事務局)

実践報告「多様性と共生について」小山民子

5. ワークショップ・生きぬくためのカウンセリング

〈205〉

テーマ「いろいろな制度は充実(?)してきたが、本当に生きづらさはなくなってきたのか」

報告 芦田幸子(研究会事務局)

エンカウンターグループワーク

6. 高校問題研究会 〈302B〉13:00~16:30

テーマ「教職に魅力を取り戻すために…生きがいがある現場を」

今、教員のなり手が少なくなっていることが問題になっています。かつて教職は、魅力とやりがいのある職業と考えてきましたが、本当にそうなのでしょ
うか?教職員の働き甲斐、生きがい、悩み、困難などを、現場の先生方を中心としてパネルディスカッションを行います。

7. 教科教育・国語 〈204〉

テーマ「『国語』の学習で、子どもたちにどんな『ことば』の力をつけるのか…」

基調報告

相模光弘(研究会事務局)

報告「小学校2年『お手紙』」

石澤雅雄(京都市つづり方の会)

報告「小学校4年『ごんぎつね』」

得丸浩一(京都市・小学校)

報告 高校「高校国語の観点別評価の実例」

山上知明(京都市立高校)

報告 高校「『漢文』学習」九野里信夫(私立高校)

報告「今夏の全国教育のつどいの分科会の特徴」

得丸浩一・九野里信夫

8. 障害児教育 〈301〉13:30~16:30

テーマ 発達を学ぶ講座

「幼児期(1歳半ごろ)の発達」

講演

「幼児期(1歳半ごろ)の発達」

講師 白石正久さん(龍谷大学名誉教授)

※報告内容は一部仮題です。報告者一部未定。